

令和6年度第1回 印西市国際化推進懇談会 会議録

日時	令和6年7月26日（金）午後2時から午後3時
場所	印西市役所 会議棟 204会議室
出席者	穴戸真会長 川喜田英博委員、富田多美子委員、治田三夏男委員、渡邊信委員、マクドエル デービット ジョン委員、渡辺正委員、リン エリック委員、張京玲委員、ラビンドラ デイ委員 （計10名）
欠席者	チュ ティ ロアン オアイン委員、山口道博委員、マイケル フィルハート委員、齋藤 マリア ジェシカ委員、江波戸洋子委員 （計5名）
事務局	企画政策課 千葉井係長、矢口、大六野
傍聴者	0名

議 題

- （1） 令和5年度事業実績報告について
- （2） 令和6年度実施予定事業報告について

議事録（要点筆記）

- （1） 令和5年度事業実績報告について

事務局 【資料1に基づき、令和5年度事業について報告】

【以下、質疑応答】

委員 異文化理解講座について、講師はどんな方だったのか、どこで開催したのか等、詳しい概要を教えてほしい。

事務局 例えばJICAの講座ではJICAの講師の方をお呼びして、駅前地域交流館で、海外での活動について話をしてもらいました。

事務局 【資料2に基づき、令和6年度事業について報告】

【以下、質疑応答】

- 委員** 外国人意識調査の結果は何に反映されるのか。
- 事務局** 外国人意識調査は8月1日から行う予定で、結果は来年策定する国際化推進方針に役立てていきます。
- 委員** 以前、委員向けにアンケートに載せる質問項目についての意見募集があったが、それは8月の意識調査のために行われたものだったのか。
- 事務局** おっしゃるとおりで、委員のみなさまからいただいた意見を元に質問項目の修正を行っています。
- 委員** どのような修正を行ったのか。
- 事務局** 大幅な変更はないが、「学校で困っていることはないか」といった子供目線と親目線の質問項目をつけ加えました。
- 委員** 小中学校における日本語指導員の配置に関して、小中学校の先生方の話を聞いていると、みなさん外国人の子供に対する日本語支援に苦労をされている。昨年度は市内の小学校8校、中学校3校に対して、日本語指導員の数が8名と、学校の数に対して指導員の数が足りていないと感じるが、これは予算上の関係で人数を増やせないのか、それとも必要性がないからか、応募者がいないからか、行政としてはあまり重点を置いていないからなのか、どのような理由からなのか。
- 事務局** 日本語指導員に関しては、今年度は1名増となっているが、なり手の数が少ないという点が問題であると考えています。
- 委員** なり手は探し方を工夫すれば見つかると思う。日本語指導員の需要がなければよいが、もしあるのであれば、予算が足りていないのではないかと思う。
- 委員** 数年前に教育委員会で働いていたが、その時は勤務体制や給料という面から講師登録をする方が増えないという現状だった。
- 委員** 中学生を対象としたオーストラリアへの派遣事業について、毎年同じ学校に派遣され

ているのか。またその派遣先の学校がある都市と姉妹都市を結ぶ計画はあるのかお聞きしたい。

事務局 今のところ姉妹都市を結ぶ計画はございません。

委員 派遣先の外国の学校から学生を受け入れる計画はあるか。

委員 今のところ、そのような計画はない。印西市から派遣する先の学校も毎回同じではない。選定は旅行会社からの提案を元にプロポーザルを行い決めている。

委員 前に勤めていた学校での例になるが、同じ学校と交流が続けていると、プライベートでのつながりもできるので、より親密な関係を築くことができた。それが一つの学校との交流を続ける場合での良い一面だと思う。

事務局 【議題の質疑応答が終了したため、意見交換の時間にすることを提案】

【以下質疑応答】

委員 ごみの出し方の中国語版の入手方法を後ほど聞きたい。

事務局 懇談会終了後に案内をいたします。

委員 資料にあった妊娠届の翻訳版を見て思ったのだが、アイディアはすごく良いと感じた。妊娠届の翻訳版だけでなく、出産後に行う手続きについても、書類の翻訳版を用意するなど外国人の支援を行う予定はあるか。

事務局 妊娠届については担当部署から相談があり翻訳版を作成した。それ以外の翻訳についても引き続き担当部局と相談して体制を整えていきたい。

委員 母子手帳の翻訳版があり、そちらでの支援は行われている。

委員 幼児支援を受けるためには銀行口座を用意する必要があるなど、市役所への届け出以外にも子育てに必要な情報がある。また、手続きに関しても、手続きごとに窓口が異なっていると外国人は混乱してしまう。一括で説明をしたり、相談に乗ることができる窓口があるとよいと思う。

委員 イメージしているのは、外国人相談センターのようなものか。

委員 はい。生活するうえで、書類の手続きや口座の開設など、いつまでに何をすればよいのか教えてくれる総合窓口があると外国人は助かると思う。

委員 外国人の中には市役所に来てもどの窓口に行けばよいかわからない人がいる。市役所の中に外国語を話せる人がいる総合窓口があればよいが、難しいのであれば、国際交流協会に連絡してもらえれば可能な限りの対応はできると思う。

また、利用件数が少ないが、市の事業で外国人のための無料相談もあるので活用していただければ。

事務局 市役所内では翻訳機や電話での通訳サービスを用いて、誰でも外国語対応できるようにしています。

外国人の無料相談は引き続き周知を行っていきます。また、県の無料相談も活用することができます。

委員 相談窓口があるだけでなく、実際にどのような相談がされているのか事例も紹介されていると、問い合わせしやすくなるのではと思う。

事務局 ご意見を参考にさせていただき、引き続き対応を考えていきます。

委員 防災に対する取り組みとして、令和5年の事業実績に、「外国人市民の積極的な訓練参加を推進する」とあるが、実際に総合防災訓練に参加する外国人は見当たらなかった。どのような方法で外国人に呼びかけを行っているのか。また、もし外国人が訓練に参加した場合、どのような情報を伝えるのか。

事務局 自主防災組織への加入を推進できれば、防災訓練への参加の呼びかけや情報提供をうまく行うことができるのではと考えています。

委員 災害ボランティアになったが、一回説明を受けたきりで終わってしまっている。また、防災訓練で質問をしても、担当の人に聞くように言われるだけで、その場で回答を得ることができなかった。担当の人がどこにいるのかもわからないので、疑問が多く残ってしまっている。

取り組みとしてはすごく良いと思うが、まだまだ足りない部分もあると思う。

委員 日本人と外国人が一緒になって防災について情報提供を行ったり、指令の体制を作

る必要があると思う。

委員

令和５年度の防災訓練等防災意識啓発事業の決算額に比べて、令和６年度の同事業の予算額が２４０万円ほど増加しているが、その理由はなにか。

事務局

今年度の金額は予算なので、決算額は変わってくると思う。昨年度も今年度と同じぐらいの予算額であったと思う。

事務局

最後に事務局から連絡として、委員の任期が今年の９月までとなっていることから、今後、次の委員の選定に関して団体への推薦依頼のご連絡をすることがあるかと思うのでよろしくお願いします。

事務局

以上をもちまして、令和６年度第１回印西市国際化推進懇談会を終了いたします。長時間、ありがとうございました。

令和６年７月２６日に行われた印西市国際化推進懇談会の会議録は、事実と相違ないので、これを承認する。

令和６年８月１５日

会議録署名委員 川喜田 英博